

帯広市立豊成小学校 学校便り

Obihiro Housei Elementary School



ほうせい

<http://www.housei.obihiro.ed.jp>

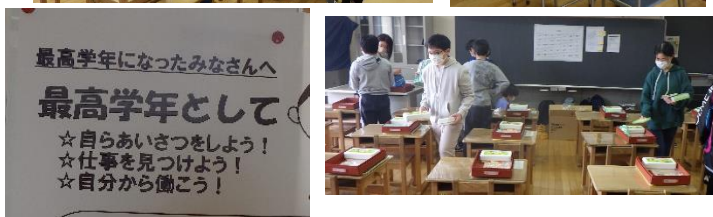
- たくましく元気な子ども
- よく考え進んで学ぶ子ども
- 明るく心豊かな子ども
- 力を合わせやりとげる子ども

令和4年4月20日 No. 2

文責 岸梅哲郎

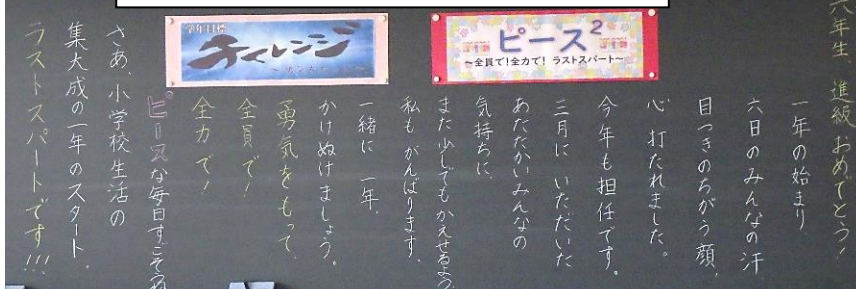
新学期に向けて 先生も6年生も頑張りました

4月6日、新学期の準備のために6年生が登校しました。「自分で考えて行動する」ということを、子どもたちは、意識して作業に臨み、先生方と力を合わせて、しっかりと取り組みました。限られた時間内で、やるべき作業を終了できたのも6年生の力が大きかったです。



活躍している様子は、この写真だけでは伝えられません。代々続いている豊成のよいところ不易（ふえき）がしっかりと受け継がれています。これからの6年生のさらなる成長に期待しています。

始業式の朝の6年1組の教室の黒板です



各種健康診断が始まりました



毎年、年度初めは、各種健康診断を行います。今年も二計測・聴力検査から始まりました。子どもたちは、養護教諭の高山先生の指示に従って、しっかりと受けていました。「背はのびたかい？」と尋ねると、「〇センチメートル伸びたよ!」と、うれしそうに答えてくれる子どもたちに、成長の喜びを感じました。

今年度は、学校支援地域本部にボランティアの依頼をしたところ、快く引き受けてくださり、計測や記録のお手伝いをしていただきました。ありがとうございました。



今年度の学校経営について

前回の学校便りに、学校で行うこと、家庭にお願いすることを記載しましたが、今回は今年度の重点について述べます。

重点は、「Let's begin さあはじめよう～不易と流行の融合」です。

今年度は、ウィズコロナのもと教育活動を行っていきます。昨年度同様、何ができるかを見極めながら行います。

すべては何かをはじめなければ、答えは出ません。成功も失敗ありません。子どもたちには、「はじめること」をしっかりと行ってほしいです。そのためには目標をもつこと、豊成3つの約束を「はじめること」を話しました。

学校では、本校での不易（今まで取り組んでいる大切なもの）と流行（今求められているもの）を交えながら、教育活動を「はじめて」いきます。

4月当初のライフライン



学級発表は、密を避けるため時間をずらして発表しました。



今年度着任した13名の教職員です。



着任式・始業式は、急遽図書室をスタジオにして、オンラインで実施しました。



入学式は、学級ごとに実施しました。



入学式後は、各学級で先生からの話をしっかりと聞いていました。ゲームなど楽しいこともして、リラックスして、下校しました。



子どもを事故から守るために

本校では、児童を送迎する保護者は、玄関までお子さんと一緒に来たり、玄関まで迎えに来たりすることになっています。入学式の際に、1年生の保護者の皆様には、直接お伝えし、ご協力をいただいております。

先日、駐車場で待っていた児童が、保護者の迎えの車が見えたと同時に、駐車場を一目散に横切り、車まで走って行く姿を見ました。「目的物が見えたら、周りを見ずに一直線に進んで行く」ことは、子どもの特性です。もちろん、学校では注意をしますが、保護者の方にもご協力いただければこのようなことは無くなりません。大きな事故が起こる前に・・・。

多くの保護者の方が、玄関までの送迎にご協力をいただいております。皆様のご協力を得て、安全安心な学校にしていきたいと思います。

お手順をおかけいたしますが、なにとぞご協力の程よろしく願いいたします。

なお、駐車場の止め方については、検討していますので、後日お伝えします。

相談員の配置について

今年度から、帯広市教育委員会が派遣する相談員が本校に配置されました。

配置された相談員は、加藤淳子さんです。加藤さんは、週2・3日、豊成小学校で勤務します。

業務の内容は、

- ・学校生活や家庭生活で気になることの相談
- ・子どもたちの心の不安を和らげるための相談
- ・お子さんの様子が気になる保護者の方との相談
- ・相談員の家庭訪問

などです。子どもたちとの関わりを大切にしながら、気軽に相談をすることができます。

保護者の方も相談することができますので、気になることや相談したいことがありましたら、学校までお問い合わせください。